

山江村議会だより

Maruoka

No.84

こんにちは あかちゃん

【特集】

令和4年度当初予算



写真の説明

きりき かいしろう

桐木 海史郎くん 令和3年7月3日生

1月から保育園に入園しました。兄にも負けずいつもニコニコな、かいちゃん。これからも兄弟仲良く、すくすく育ってね。(10区)

目次

- | | |
|-----------------|-------|
| ○特集「令和4年度当初予算」 | P2～3 |
| ○令和4年3月議会定例・臨時会 | P4～5 |
| ○一般質問 | P6～11 |
| ○編集後記「だんだんなあ」 | P12 |

令和4年4月30日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

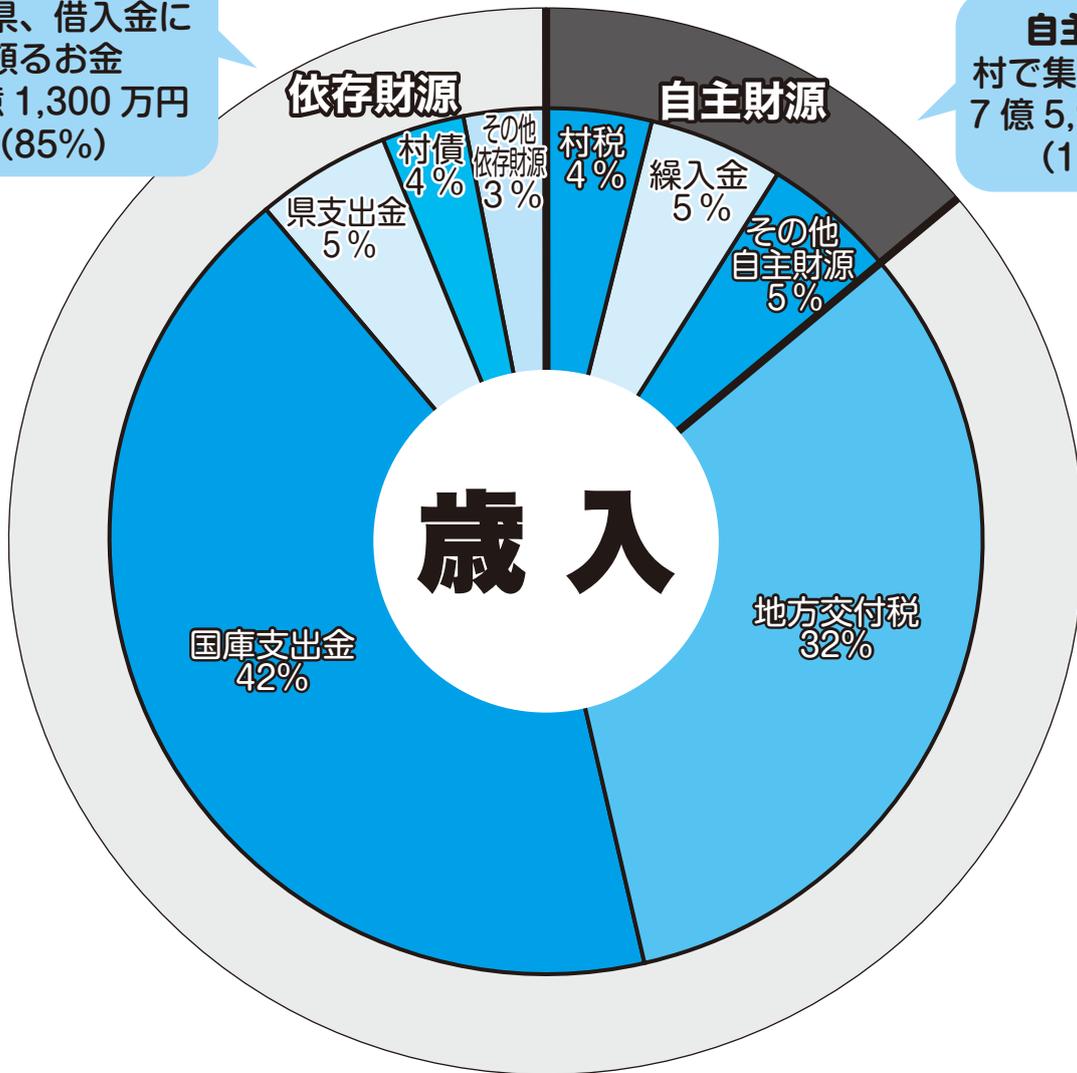
① 山江村議会だより 令和4年4月30日発行

【特集】令和4年度一般会計予算

50億7,200万円

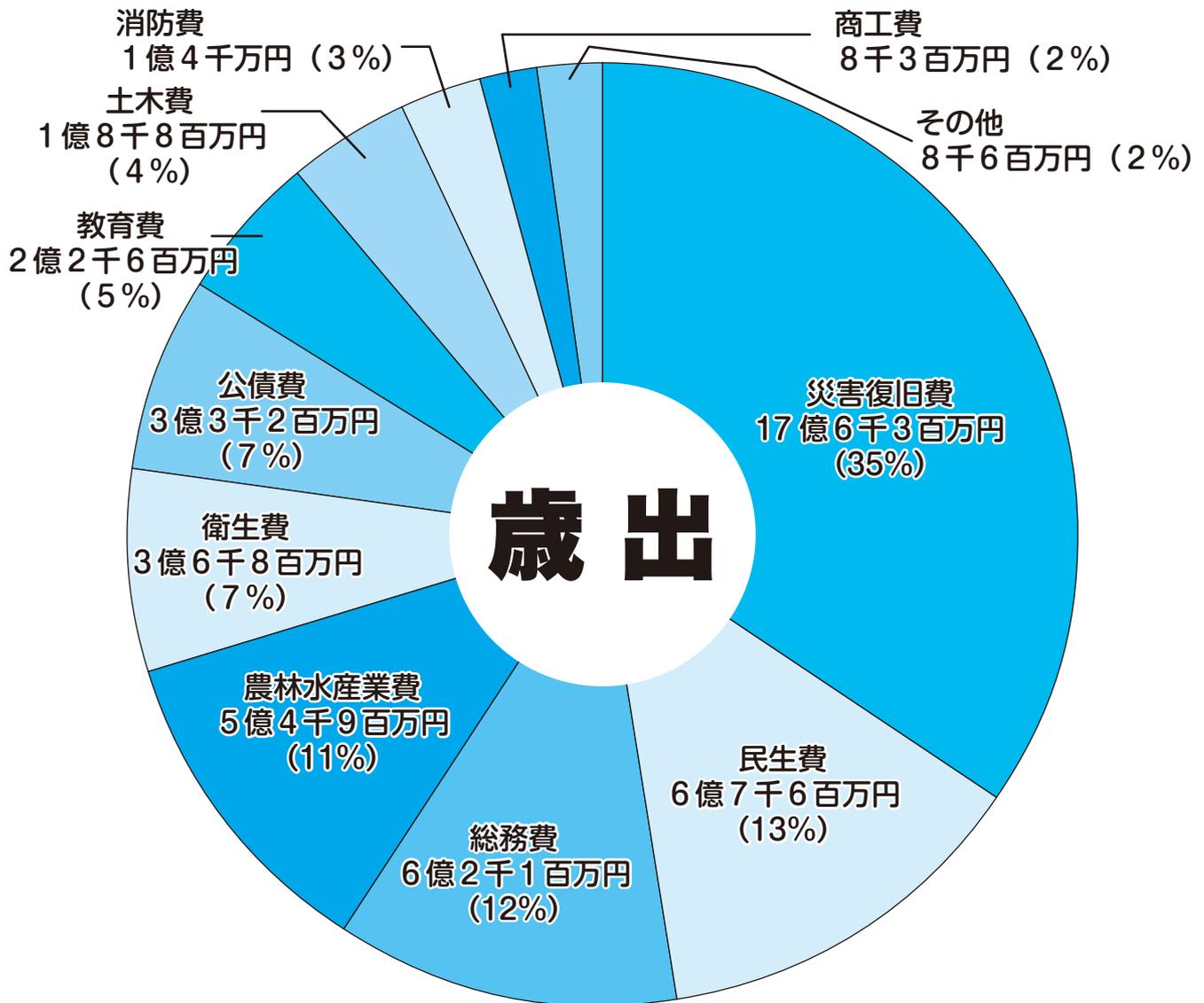
依存財源
国や県、借入金に
頼るお金
43億1,300万円
(85%)

自主財源
村で集めるお金
7億5,900万円
(15%)



	名称	予算額	内容
自主財源	村税	2億1,756万2千円	村民税や固定資産税など村民の皆様が納める税金
	繰入金	2億6,871万4千円	基金(村の貯金)を取崩して事業に充てるお金
	その他自主財源	2億7,259万7千円	使用料や手数料など
依存財源	地方交付税	16億1,000万円	全国的に一定水準の行政サービスを保つため国から交付されるお金
	国庫支出金	21億90万3千円	国からの補助金など
	県支出金	2億6,345万1千円	県からの補助金など
	村債	2億440万円	大きな事業を実施するために国などから借りるお金
	その他依存財源	1億3,437万3千円	地方消費税交付金や地方譲与税など

4年度の一般会計予算は、歳入歳出の総額がそれぞれ50億7,200万円で前年度と比較して2億200万円、3.8%の減です。新型コロナウイルス感染症対策や令和2年7月豪雨災害の復旧への早期な対応が求められる中、村民の皆様の生活を守るための各種予算が編成されています。



項目	内容
災害復旧費	災害箇所の復旧などにかかるお金
民生費	高齢者や障がい者、子どもの福祉対策などにかかるお金
総務費	庁舎や職員給与、ふるさと応援寄付金謝礼などにかかるお金
農林水産業費	農業や林業、畜産業などの振興にかかるお金
衛生費	検診や予防接種、ごみ処理などにかかるお金
公債費	村債で借りたお金の返済など
教育費	学校教育や生涯学習、スポーツ振興などにかかるお金
土木費	道路や河川の維持、整備などにかかるお金
消防費	消防団や広域消防、災害対策などにかかるお金
商工費	商工業や観光業などの振興にかかるお金
その他	議会にかかるお金や予備費

■ 3月議会定例会 ■

令和4年3月議会定例会が、3月10日から17日までの8日間の会期で開催した。

村執行部より提案された議案は、令和3年度一般会計補正予算など25議案、議会報告1件が提案された。1日目に令和3年度各会計補正予算6件が可決され、2日目には村内の現地調査を行った。また、7日目には一般質問で6名の議員より通告があり村執行部へ一般質問を行った。

(内容は後述)

最終日に採決となったが、令和4年度一般会計予算への修正動議が発議され、賛成多数で可決、その他の議案についてはすべて可決となり、閉会した。

令和4年度一般会計当初予算修正動議における 質疑討論

令和4年度一般会計当初予算において、5名の発議者により修正議案が提出された。主な内容は、親水公園整備構想委託料300万円と、やまえ温泉檜風呂改修工事1,550万円を削減するもの。それに対する質疑、討論がなされ、賛成多数で可決した。

- 質** 赤坂議員：檜風呂改修工事削減について、影響をどのように分析しているか。財源も過疎債活用で、何が問題なのか。代替案を出すべきでは。
- 答** 西議員：当センターの監査をしているが、経営状態も厳しく、浴室以外にも今回空調等の改修もはいつている。経営改善計画が必要。
- 質** 本田議員：議会も認めた復興計画の一つとして親水公園計画があるわけだがなぜ委託料削減か。
- 答** 西議員：浚渫・護岸・道路の復旧工事がまだ半ばである。もう少し落ち着いてから。
- 質** 久保山議員：親水公園整備構想委託料について、復旧も含め全体的な構想を進めていくことだと思うが。
- 答** 西議員：公園はレクリエーション的であり、必要とは思いますがまずは復旧工事を急ぐべき。
- 質** 秋丸議員：檜風呂は全体的にシロアリ等による腐食があり、早急に改修が必要。親水公園は工事等と同時に進めるべきでは。
- 答** 西議員：代替案として計画的な改善計画が必要。親水公園については、今は主力が河川・道路工事、こちらに集中すべき。

質疑の後、討論となり、親水公園については「近隣町村においても復旧と復興はセットで進めている。」「復興計画にも掲載されている。」「檜風呂改修については「非常に人気がある。」等の反対討論があったが、「親水公園構想より復旧が最優先である。」「檜風呂は管理が難しい。」などの賛成討論の末、下記採決となった。

採決 (起立採決)

議員名	本田 りか	久保山 直巳	中村 龍喜	赤坂 修	森田 俊介	横谷 巡	立道 徹	西 孝恒	中竹 耕一郎	秋丸 安弘
賛否	×	×	○	×	○	○	○	○	—	×

賛成：○、反対：×、採決に加わらない：—

予算以外の議案 ※主なものを抜粋

- | | | |
|--|---|--|
| 山江村固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて | ➡ | 山江村固定資産評価審査委員に内田誠治氏の選任を同意した。 |
| 山江村議会議員及び山江村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について | ➡ | 議員及び村長選挙における自動車、ビラ及びポスター作成の公費負担に関する条例を制定 |
| 山江村まち・ひと・しごと創生推進基金条例の制定について | ➡ | 法人からの寄付金（企業版ふるさと納税）を基金として積立する条例 |
| 山江村消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ➡ | 消防団の年報酬や出動報酬の改定を行う条例 |
| 山江村税条例の一部を改正する条例の制定について | ➡ | 空き家を活用し自主避難場所とした場合の固定資産税減免 |
| 山江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | ➡ | 限度額の改定と保険税率の改正 |
| 山江村体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ➡ | 山江村体育館の使用料で冷暖房の項目が追加 |

3月11日議員による現地調査を実施した。



村道県道柚木川内線（柚木川内橋）橋梁
災害復旧工事（下部工）



公営住宅災害復旧事業（建設予定地）

3月議会臨時会

令和4年3月議会臨時会が、3月30日の1日間の会期で開催し、**全6議案可決**した。

山江村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和3年度山江村一般会計補正予算（第11号）

令和3年度山江村特別会計簡易水道事業補正予算（第5号）

令和3年度山江村特別会計農業集落排水事業補正予算（第4号）

令和3年度山江村特別会計後期高齢者医療事業補正予算（第3号）

令和3年度山江村特別会計ケーブルテレビ事業補正予算（第3号）



立道 徹 議員

異常気象に伴う災害対策について



今後の災害対策は

問

森林荒廃による土砂流出の恐れのある個所の調査と点検と対策は。

答 産業振興課長

令和2年7月豪雨後、復旧箇所・復旧予定箇所点検を兼ねて定期的に巡回している。県との合同で治山パトロールを実施し、危険個所については、治山要望等を行っている。林道、作業道の復旧を進め、林業施設、有害鳥獣駆除活動ができる環境整備を進めることが、森林荒廃、土砂流出を防ぐ重要な解決策であるので今後も進めていく。

問

山林伐採に伴う搬出作業道の整地と排水対策や木材の切れ端の後始末等の徹底指導等について。

答 産業振興課長

熊本県・市町村で策定しているルールブックに基づき、実施しており、林業従事者、県・山江村と合同で作業箇所のパトロールを実施し、課でも独自にパトロールを実施している。今後も巡回を重ね、伐採届の提出があった場合には指導を徹底していく。

問

伐採に伴う搬出作業道に元に戻すような指導は。

答 産業振興課長

現時点では、元に戻すような指導は行っていない。今後は、ルールブックに基づき、指導を行う。

問

村内河川堆積土砂撤去の進捗状況は。

答 建設課長

山田川・万江川は、令和2、3年度においてほとんど撤去完了。宇那川の土砂撤去は、4月には撤去予定。

問

今後、河川堆積土砂の定期的撤去が災害を未然に防ぐ必要条件下で重要であり、必要であると思うが。

答 建設課長

県は、出水期後の堆積状況や市町村からの要望を踏まえ行う。村も引き続き、取り組む。



宇那川堆積土砂状況



伐採後の搬出作業道後

※他に令和4年度予算編成方針について質した。



森田 俊介 議員

平成30年所信表明 村の4つの検証について 環境と福祉行政について



平成30年所信表明の
4つの公約、
検証について

問

人口減少社会である、高齢者人口の増加や後継者不足が、高校卒業、大学、専門学校に進学された方々に山江に戻っていただく対策は？

答
村長

山江村がどういう動きをすればいいのか、私も読み直している。災害も受けて人口減少が進んできた、農林業、商工業関連の誘致企業を囿る。産業をしっかりと考え働く場を作って今後考えていきたい。

問

多発する大型災害への対応と、豪雨水害災害から、防災減災生活関連公共事業の計画の充実、万江地区の管理センターの整備は？

答
村長

国土強靱化予算も活用、公共工事、防災、減災の工事を進めていきたい。

問

第4次産業革命に飲み込まれる。地域づくり研究所、ICT研究体制、農産物のブランドディング、物産館ペースト工場新設、学校給食地産地消、ニオイヒバの商品化、炊き込みご飯の素の生産加工販売の流通の現状の拡散していくのか？温泉センターにもないし、どこに売ってあるのか？



炊き込みご飯の素とニオイヒバ除菌剤

答
産業振興課長

山江振興活性化交付金を活用して開発、村内の業者が製造、販売されている。販売ルートを広げていきたい。

問

観光交流人口の増加を図る。観光交流促進協議会を

答
村長

設立して20年から4年間で30万を目指す、村民の自主活動の支援と財政支援を充実させたいとあったが？

観光産業が衰退することによって交通関連の産業が停滞し、コロナウイルス感染症の影響で動けず、災害、コロナで大打撃を受けた。環境と福祉行政について

問

移住者場の山林で、雑枝が大きくなり台風や豪雨の時大変危険場所の一斉調査をしたら？

答
建設課長

委託業者による道路パトロール、危険な案件があれば建設課まで、情報化推進委員と連携していく。

問

高齢者等の移住にて、雑枝、庭木の剪定が困難な方の作業補助金等はないものか？

答
総務課長

必要性がある検討があるが、現在では考えていない。

問

猫、犬の糞が道路脇に見られ、苦情や相談事がある。特に猫の野放しが多く見られる。どのような対策されたか？

答
健康福祉課長

広報誌、チラシの回覧、看板設置など村民の皆様にご注意喚起を行っている。

問

猫の放置なんかは、隣など苦情も言えない。動物愛護法が6月に施行される。犬や猫の捨てを減らすこと山江村の考えは？

答
健康福祉課長

マイクロチップの設置の義務化に関する、令和4年度以降に役場担当者への説明会がある。



西 孝恒 議員

「R2年7月豪雨」による仮設団地入居の方への住宅支援状況は！



成人年齢 18 歳へ引き下げについて



仮設団地入居の方への住宅支援状況

問

仮設住宅入居期限の原則2年間も近くなり、今後についての意向確認状況は！

答 健康福祉課長

生活再建に関わるアンケートを実施し、その内容に沿った世帯ごとの個別面談を行い各課の協力を得ながら個別支援計画を策定した。入居期限延長もあるが国が認める理由に該当しないことあり、入居者へ延長可となるための説明等再度の個別面談を行い、各戸の今後について意向確認した。入居者の方が安心して再建出来るよう支援して行きたい。

問

空き家バンクの登録状況等について。

答 企画調整課長

空き家バンク制度は村内の定住を目的として物件の利用を希望する者に対し、紹介していくものであるがこの制度に登録の物件が対象になっている。現在村では一件の登録である。

問

仮設住宅の入居者聞き取り調査により、住まいの再建をされたい希望の場合の支援について。

答 村長

その支援策であるが、一つは福祉の生活再建の支援金がある。それに加え住まいの安全確保支援事業が県議会に提案されていて通るとその金額の2/3は県から1/3は村からの支援が出来るようになるので支援金はその合計になる。出来るだけ寄り添いながら相談に乗って行きたい。

問

応急仮設住宅としての役割期限後は県から無償譲渡を受け、村所有の住宅等再利用率の考えについて。

答 村長

まずは仮設住宅入居の方をしつかり見守りたい。その後については諸々考えられるが、老朽化した村営住宅からの一時的な活用等や、またその土地は中央グラウンドであり山中のグラウンドとして返すことも考えられる。どういう活用が良いのか考えて行きたい。

成人年齢18歳への影響は

問

本年4月から成人年齢が18歳に引き下げられることで変わる事や注意点、中学校での指導教育また成人式について。

答 教育課長

変更点は親の同意なく携帯電話、ローン、クレジットカード等自分の意志でできる。また親権に服さなくなるなど。少年法も18歳19歳は特定少年として厳罰化される、安易な契約でトラブルに巻き込まれる可能性がある。中学校では3年生で公民の中で学習もあるかと思う。

山江村の成人式については、その対象となる生徒の保護者へアンケート実施の結果91.5%が20歳での実施を希望されている。また時期については1月が良いと回答された方が88.1%であった。協議の結果従来どおり20歳を対象とし名称を変更して開催したい。





赤坂 修 議員



内山村長、出馬表明!!

次期村長選挙の出馬は

問

7月に実施されます村長選挙出馬の意向について、内山村長の率直なお考えをお伺いする。新型コロナウイルス感染症対策は基より、7月豪雨からの復旧復興は始まったばかりである。特に仮設住宅にて生活されている世帯の希望に添った生活の再建が急務であり、万江川に砂防ダム建設の要望もあっている。住まいの再興、生活インフラ、砂防ダムを含めた河川などの強靱化の早期実現には、補助金の確保、規制緩和など国県を動かす力が必要であり、そのような状況の中で、内山村長の行動力と今まで築かれてきた国県とのパイプが必要であり、次期村長選挙に出馬していただくことを強く要請する。どのようにお考えか。

答
村長

できれば、若い方で新しい発想によりこの山江村の経営、振興・発展のために頑張ってくれる人はいないかと打診してまいりましたが、大変厳しい時代だということもあり、うまくいかなかった



山江村役場

た。そして、何と言っても、現在、復旧・復興の真っ最中である。いわゆる、目の前に課題が山積をしている。そういう責任上からもその課題から目をそらすわけにはいかないと考えている。仮設住宅にお住まいの方、この方々にしっかり寄り添い



仮設住宅

ながら、一日も早く元の暮らしができるよう、しっかりと見届けるといことが何にも増して重要だろうというふうに見えるに至った。被災者の方の再建を急ぐ、復旧工事の早期完了、復興村づくり村民の方々の意見をしっかりと聞きながら、その課題に対して、しっかりと対策を打つ。そのことにより、村民の方々、そして若者が、なんと内山村長に愛着と誇りを持ち再び故郷に戻ってくる。小さな村であるが、小さな山村だからこそ、幸せに暮らせる村を目指し、次期村長選挙に挑戦したいと考えている。よろしくお願いたい。



中村 龍喜 議員



移住定住の取り組みについて

村営住宅の 利用状況について

問

村営住宅は一昨年の水害で、万江城内団地も被災し、住宅に入居されていた人達も現在仮設団地で生活されている。新たに温泉センターの前に用地を確保され、住宅が建設されるが、現在の住宅の利用状況について伺う。

答 建設課長

山江村では、令和3年3月31日現在で、令和2年7月豪雨で被災した城内団地を含め、10団地171戸の公営住宅、並びに特定公営賃貸住宅を管理しており、令和4年3月1日現在、被災した城内団地を除く10団地161戸に対し、157戸の入居で利用率97.5%となっている。なお残り4戸についても修繕や入居に向けての調整を行っている。

分譲住宅地の 建設計画について

問

分譲住宅地の建設計画についてお尋ねする。現在移住、定住の取り組みについては、移住、定住推進費と



住宅予定地の田んぼ（温泉センター向かい）

いう事で予算にも計上されている。定住については、本城の森とか、堂園分譲地のように、自分で土地を求め、住宅を建設して住まわれる方が、子々孫々まで住まわれるということであれば、本場に強い定住になると思う。山江村に住みたい

答 企画調整課長

という方はたくさんおられると思う。個人で用地を求めて住宅を作るには、農振地の場合は農振地除外とか色々な負担がある。山江村で分譲住宅地の設計、計画はあるのか。

山江村は、人吉市や、高速道路インターチェンジが近いということで、また子育て環境、学校給食の無償化というようなことから、移住、定住というような希望者も少なくない。分譲住宅地については、平成14年度に合戦の峯地区本城に、28区画、平成29年度堂園に3区画を整備し、分譲した経緯がある。これまでもいろいろ候補地等の検討をされたが、道路、上下水道、電気などの諸問題で、なかなか計画は進んでおらず、現時点では計画はない。今後は村も検討していく必要があるという事は認識している。



横谷 巡 議員

暮らしの支援と先を見据えた行政対応を！



問 道路の復旧状況と見通しについて

村道岩ヶ野く下払線と吐合く宇那川線の災害復旧状況と見通しは。

答 建設課長

岩ヶ野く下払線は、最初に治山工事を行い、その後に道路の復旧工事を行う計画で、令和5年の完了予定である。

吐合く宇那川線は、道路、橋梁等大規模な多種多様な災害発生で、工事間の調整が必要で、長期間を要する見込みである。



問 被災家屋の補助支援について

被災された家屋の再建には多額の建築費を要するが補助支援の考えは。

答 村 長

県に安全確保支援事業という制度があり、罹災証明をもとに3分の2の補助があることから、3分の1を村負担とすることについて、しっかりと動いていきたい。

問 在宅福祉配食サービス回数の増について

家庭の事情に応じた配食サービスを週5日に増やすことはできないか。

答 健康福祉課長

委託先の社会福祉協議会との協議が必要であり課題、対応策について調査検討したい。

問 コロナ感染症の予防喚起の必要性は

長引くコロナ感染症拡大は、生活、精神面でも疲れ、馴れ合いが感じられる。踏ん張りどころである今、再

度の予防喚起が必要と考えるがどうか。

答 健康福祉課長

今後もコロナ感染症拡大の予防意識の向上を図るため、防災無線、広報及びホームページ、ケーブルテレビ等を活用しながら周知を行っていきたい。

問 将来を見据えた教育環境づくりについて

児童生徒数の減少に伴う学校再編や特に小中一貫教育など、今後の学校教育のあり方についての展望は。

答 教 育 長

村内各学校とも、学力調査では県内上位、文化、スポーツ面でも上位の成績を示しており、現時点では、地域の良さ、各学校の独自性のある教育を模索しながら、子どもたちにとって、一番良い教育の在り方を検討してまいりたい。

問 (株)やまへの今後の経営のあり方について

施設の老朽化に伴う維持修繕、利用者の低迷、競合施設などの動向を踏まえ、運営経費の財政負担を考慮したとき、今後の経営のあり方を議論、検討すべき時期に来ているのではないかと。

答 村 長

当施設は温泉、栗饅頭生産販売で、経営の維持をしているが、施設の老朽化も進み、リニューアルの検討時期に来ている。今後、長年の方々の思いがある仲、適切な民間先があれば、それを含めて意識しながら、施設管理に努めていきたい。

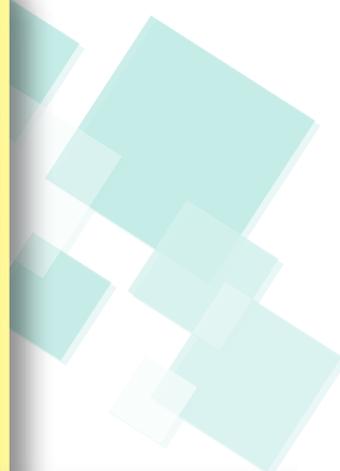


山江温泉

議員活動の一コマ



令和4年2月14日球磨郡町村議会議長会主催での議員研修がオンラインで開催された。熊本県副知事の木村氏を講師として「球磨郡の復興・地域について」講演があった。【左上写真】また、2月24日には下球磨町村議会正副議長会主催による議員研修もオンラインにて開催された。講師には熊本大学教授の伊藤氏が「議会の課題と議員の役割」を演題に講演がなされた。【右下写真】



だんだんなあ

「今朝の霜は強かったなあ」近頃まで、朝の寒さに戸惑っていたが、梅に花が咲き、桜の花が咲き、春だと感じたのも束の間、日中は汗ばむ程の暖かさの今日この頃である。空を見上げるとつばめが飛んでいる。そろそろ田んぼの事が気になってくる。季節の変わり目の速さを感じながら、年々田んぼで働く人の高齢化が気にかかる。山江村の基幹産業の農業、林業は、5年、10年経ったらどうなっているのだろうか。コロナウイルス感染症で、世界の人々の生活、経済が大変な時に、ロシアのウクライナ侵攻のニュースをテレビで観るたびに、その悲惨な状況に胸が痛む。平和で平穏な日常が、一日でも早く戻ることを願うばかりである。山江村の将来を、村民の幸せを考える時、なんでもない1日1日が大切だと感じる。

(文責 中村 龍喜)

【山江村議会広報編集特別委員会】
委員長／赤坂 修
委員／久保山 直巳
中本 田 直巳
村 龍喜
龍喜 龍喜